
境界線上の王の財宝

見知らぬ英雄

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

境界線上の王の財宝

【Nコード】

N1620Z

【作者名】

見知らぬ英雄

【あらすじ】

浅間智の弟、浅間時が送る物語

死にかけた後の会合（前書き）

境ホラのアニメ見てたら書きたくなったので書いてみた、後悔はしていない

死にかけた後の会合

「ここは何処？さっきまでトリー君達と遊んでたのに」

僕は何が起こったのか最初は理解が出来なかった、けれど時間が経つごとに何が起こったのかが分かるようになってきた

「確かホラちゃんと一緒に走っててトリー君が追いかけて来ているときに馬車で弾かれたんだっけ？と言うことは僕は死んじゃったのかな？」

そう思っただけ目を瞑っていたら

「雑種よ、何故生を諦める、目を瞑らずにこっちを向け」

という声が聴こえてその方向に顔を向けたら

「ふん、やっとこっちを向いたか雑種、王たるこの我が^{オレ}こっちを向けと言ったら一秒以内に向かんか」

と金ぴかの鎧を着て髪を逆立たせてる人がいた

死にかけた後の会合（後書き）

取りあえずギルガメッシュを出させて頂きました、後悔はしていません

色々な説明 + 貰い物

「えっと、あの、お兄さんは誰ですか」

そう僕は目の前の金ピカお兄さんに問いかけた

「ふむ、そう言えばまだ名乗ってなかったな、我の名はギルガメツシユ、古代メソポタミアの王だ……ところで貴様の名は何という」

「僕の名前ですか？僕の名前は浅間時と言います、それで何でギルさんはわざわざ死にかけている僕の所に来たんですか？」

「何、この世界で直死の魔眼に目覚めた者がいると聖杯が言っていたのでな我が全英霊を代表して見に来たと言っわけだ、普通なら見るだけで我は英霊の座へ帰る筈だったのだが、お前を見たら気が変わった、お前には我がわ宝具王ゲート・オブ・バビロンの財宝をくれてやるっ、因みに拒否権は無い、それと他の英霊がたまに来る予定となっているから王の財宝の練習台になって貰うといいだろう、慢心せずにキチンと励めよ、それと王の財宝は蔵の中から刀剣類を出すような感じでやればきちんと使える筈だ、無論王の財宝の中には我が最強の宝具エアも入っているからな、ではなまた会おう」

そう言っくと金ぴかギルさんが居なくなっった。その後ギルさんが言っ
てた王の財宝を試しに使っってみた

結論、これはヤバい事が判明した、念の為、使う練習を行おうと思う

後、何故かこの世界から僕が眠っている筈の世界に戻る事が出来なかった、何でだろうかなーと思っていたら

「それはまだ君の体が完全に回復してないからではないかね？」

と今度は赤い外套を身に纏った白髪の人が僕の目の前にいた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1620z/>

境界線上の王の財宝

2011年12月5日23時52分発行